

早稲田大学 共同原子力専攻

大学教育と原子力産業の架け橋を目指して

2019年4月

早稲田大学 理工学術院
先進理工学研究科

共同原子力専攻 入試説明会

共同原子力専攻の設立

2010年4月に、
“大学教育と原子力産業の架け橋を目指して”、
原子力人材育成のため
東京都市大学と早稲田大学で
共同原子力専攻を設立しました。

今までに、共同原子力専攻（早稲田大、東京都市大学）合計で 200名以上の修了生を送り出しています。

早稲田大学共同原子力専攻研究室と専門分野

原子力エネルギー領域

師岡慎一教授



原子炉熱流動
伝熱工学
流体力学
原子力の安全性
次世代原子炉
シミュレーション
流体・熱計測

企業での長い研究経験
現場で役立つ教育

古谷正裕教授



原子炉熱流動
伝熱工学
流体力学
電気化学
原子力の安全性
シミュレーション
AI・MI・機械学習
企業での長い研究経験
現場で役立つ教育

山路哲史 准教授



原子炉設計工学
原子炉物理学
原子炉の安全性
新型原子炉
計算科学・計算工学
粒子法
原子炉の広範な分野をカバー
国際機関での経験

放射線応用領域

大木義路教授



電力・電気・電子機器
用誘
電体・絶縁材料
放射線工学
放射光応用
イオン工学
膨大な研究論文発表

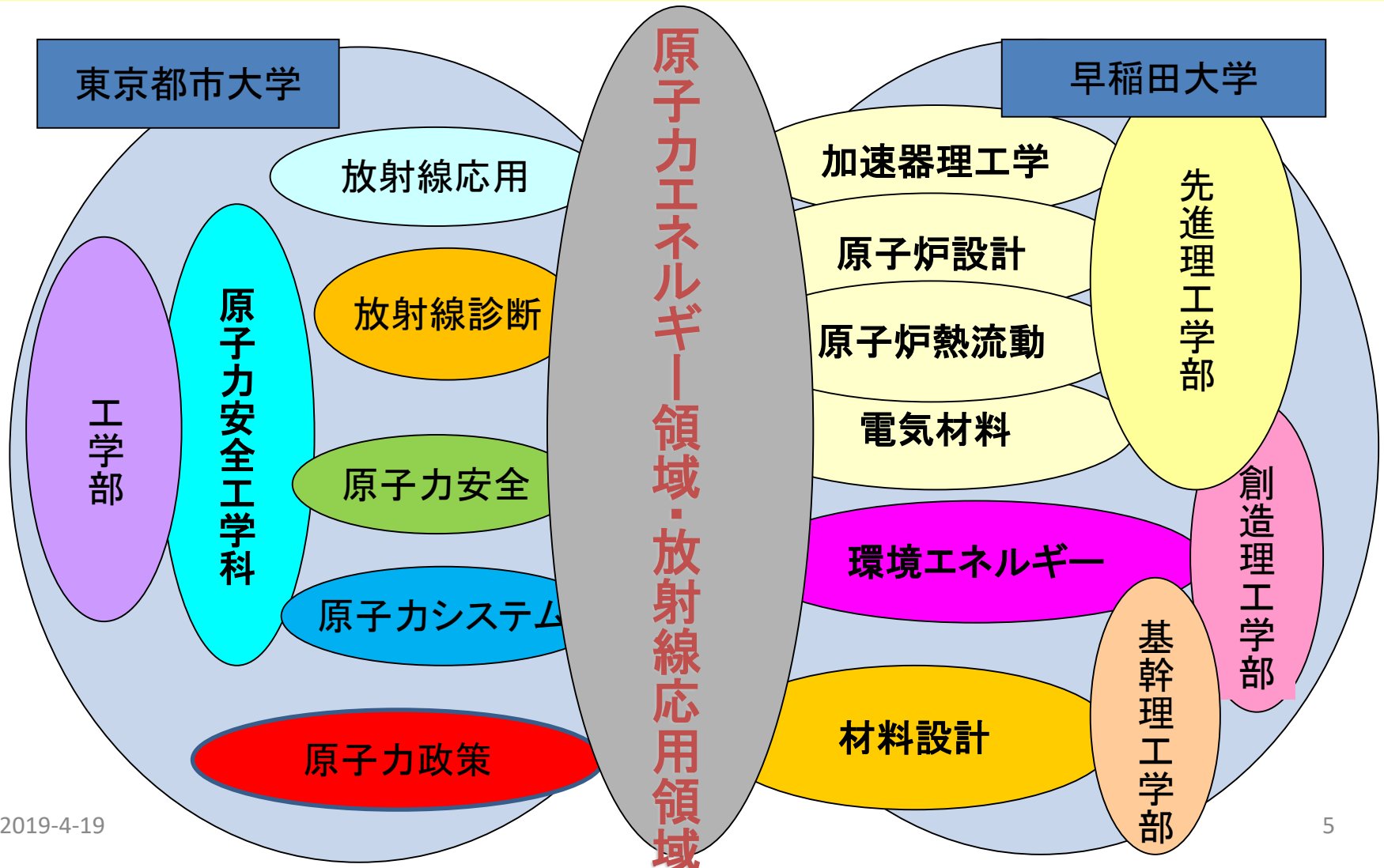
鷺尾方一教授



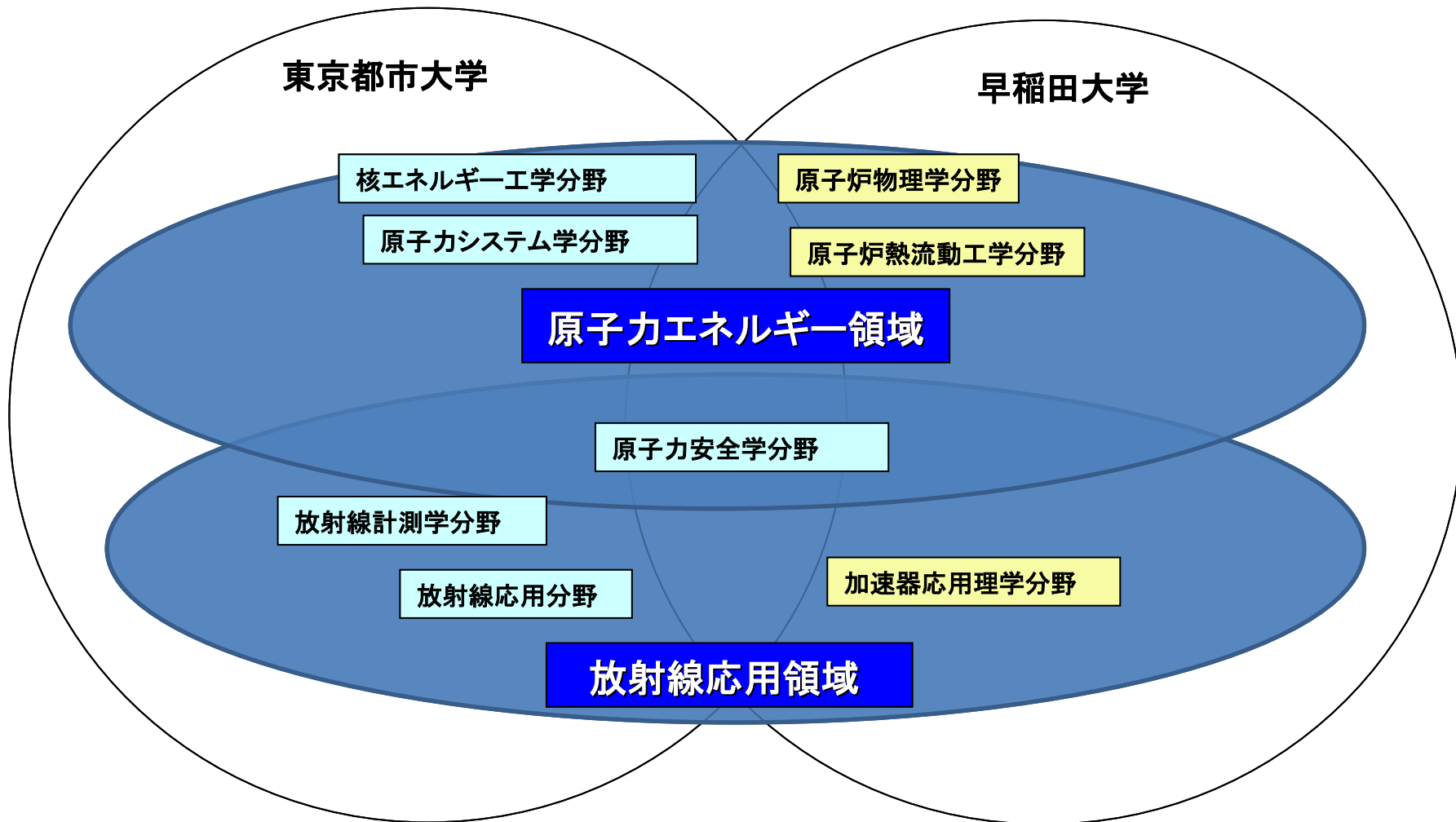
加速器科学
放射線物理
放射線化学
放射線工学
高分子化学
加速器を自ら設計製作

早稲田大学・東京都市大学共同大学院

原子力工学の基礎基盤となる工学系と加速器理工学に強い**早稲田大学**と原子力安全工学科を持つ**東京都市大学**との共同大学院で、原子力利用・技術の展開を支える人材を育成



研究分野と2つの研究開発領域



原子力人材育成の重要性

エネルギー安全保障問題そして
福島第1原子力発電所事故



原子力発電と新たなエネルギー利用と放射線利用としての加速器・放射線応用に従事する幅広い専門的な知識を有する人材の育成は極めて重要性が高くなっています。

早稲田大学共同原子力専攻の特色

- **幅広い分野の知識を習得できる教育プログラム**
原子力のみならず機械・物理・電気・材料などの分野の教員による教育プログラム
- **倫理感のある即戦力として活躍できる人材育成**
企業や研究機関と連携し、実際の原子力施設そして加速器施設における技術訓練・インターンシップなど現場での実習をしています。徹底した研究倫理教育を行います。

早稲田大学 共同原子力専攻の特徴

- 原子力発電と放射線応用(加速器)の分野に強い

- 最新の産業界のニーズに合った教育

産業界と連携したインターンシップ、実習を通じて、最新の産業界のニーズを学生自身に所得させる。

- きめ細かい研究指導そして就職支援

- 手厚い奨学金制度

共同原子力専攻独自そして学内奨学金

入学するには

- 入学試験は各大学で行います。
- 学生の所属は、各大学になります。
- 定員(各大学)
 - 修士課程 15名/年
 - 博士課程 4名/年